

- 1 円安が進んだとき、海外での売上を日本円に換算した際の受け取り金額が増加し、利益を得やすくなるのはどのような企業ですか？
- 2 日本銀行が物価を安定させ、経済を円滑に動かすために、金利の操作などを行って調整することを何といいますか？
- 3 継続的に物価が下がり続け、相対的にお金の価値が上がってしまう経済状態を何という？
- 4 円安になることで利益が増えやすくなる、海外へ製品を販売している企業を何という？
- 5 景気が悪化している際に、日本銀行が国債を買い入れて市場に資金を供給することで下げようとするものは何？
- 6 日本銀行が政府の銀行として管理する、国の税金などを指す公的な資金を何という？
- 7 景気の悪化やデフレからの脱却を目指し、市場への資金供給を増やす政策を行う中央銀行を何という？
- 8 市場の需給によって為替レートが変動する仕組みを何という？
- 9 政府が資金を調達するために発行する債券で、日本銀行が募集や支払いを代行するものを何という？
- 10 日本円と外国の通貨を交換する際、1単位あたりの円の価値が下がっている状態を何という？
- 11 税金の受け入れや支払いなど、国のお金の出し入れを引き受ける日本銀行の役割を何という？
- 12 外国の通貨に対して、日本円の価値が相対的に上がることを何という？
- 13 円安によって海外からの資源や食料品の購入コストが引き上げられ、家計に負担をかける要因となる経済現象は何ですか？
- 14 民間銀行の経営が行き詰まった際、日本銀行が資金を貸し出すことで連鎖倒産を防ぐ役割を何という？
- 15 円高によって収益が悪化しやすい、製品を海外へ売る産業を何という？
- 16 物価が継続的に上昇する中で、消費者が自分の持っているお金でどれだけのモノを買えるかという力を何といいますか？
- 17 日本銀行がかつて金融政策の手段として用い、市中銀行への貸出金利の基準としていた金利を何という？
- 18 銀行同士の取引で生じた債権や債務の支払いを、日本銀行の口座を使って最終的に精算する仕組みを何という？
- 19 銀行が預金を受け入れ、それを貸し出すことを繰り返すことで、社会全体で通貨の量が増える仕組みを何という？

